

多可町歌

♩=108 くらい

作詞 閑念君代
作曲 橋本喬雄



ゆきどけのせせらぎに
つらなる峰の霧はれて
こがねの稲穂波打ちて
今日の稔りの喜びを
若き世代に つなぎつ
永遠に伸びゆく多可の町
永遠に伸びゆく多可の町
高くかかげる多可の町

平成18年(2006)11月1日 制定

三 二 一

* 永遠に伸びゆく 多可の町
 永遠に伸びゆく 多可の町
 若き世代に つなぎつ
 今日(けふ)の稔(ね)りの 喜び(よろこ)びを
 黄金(こがね)の稲穂(いなほ) 波(なみ)打ち(うち)て
 高く(たか)かかげる 多可(たか)の町(まち)
 共に(とも)勤(いそ)しみ 織(お)る夢(ゆめ)を
 緑(き)したたる 谷間(たにま)に
 連(つら)なる峰(みね)の 霧(きり)はれて
 歴史(れきし)を刻(き)む 多可(たか)の町(まち)
 風(かぜ)の光(ひかり)に 悠(ゆう)久(きゅう)の
 雪(ゆき)どけ水(みず)の せせらぎ(せせらぎ)
 いのち育(はぐ)む 地(つち)の色(いろ)

多可町歌

作詞 閑念君代
作曲 橋本喬雄